



市民ネットワークは1991年から議員を出し続けている地域政党です

INDEX

- 石炭火力発電所計画って？
ひと味ちがう 市民ネットワークちばの代理人
子育ては社会の仕事

市民ネットワークちば

No.91

編集・発行 市民ネットワークちば 〒260-0013 千葉市中央区中央 4-10-11

発行責任者 山田京子 TEL&FAX 043-201-2551



渡辺 忍 岩崎 明子 松井かよ子 市民ネットワークの代理人(市議会議員)

http://chibanet2551.com

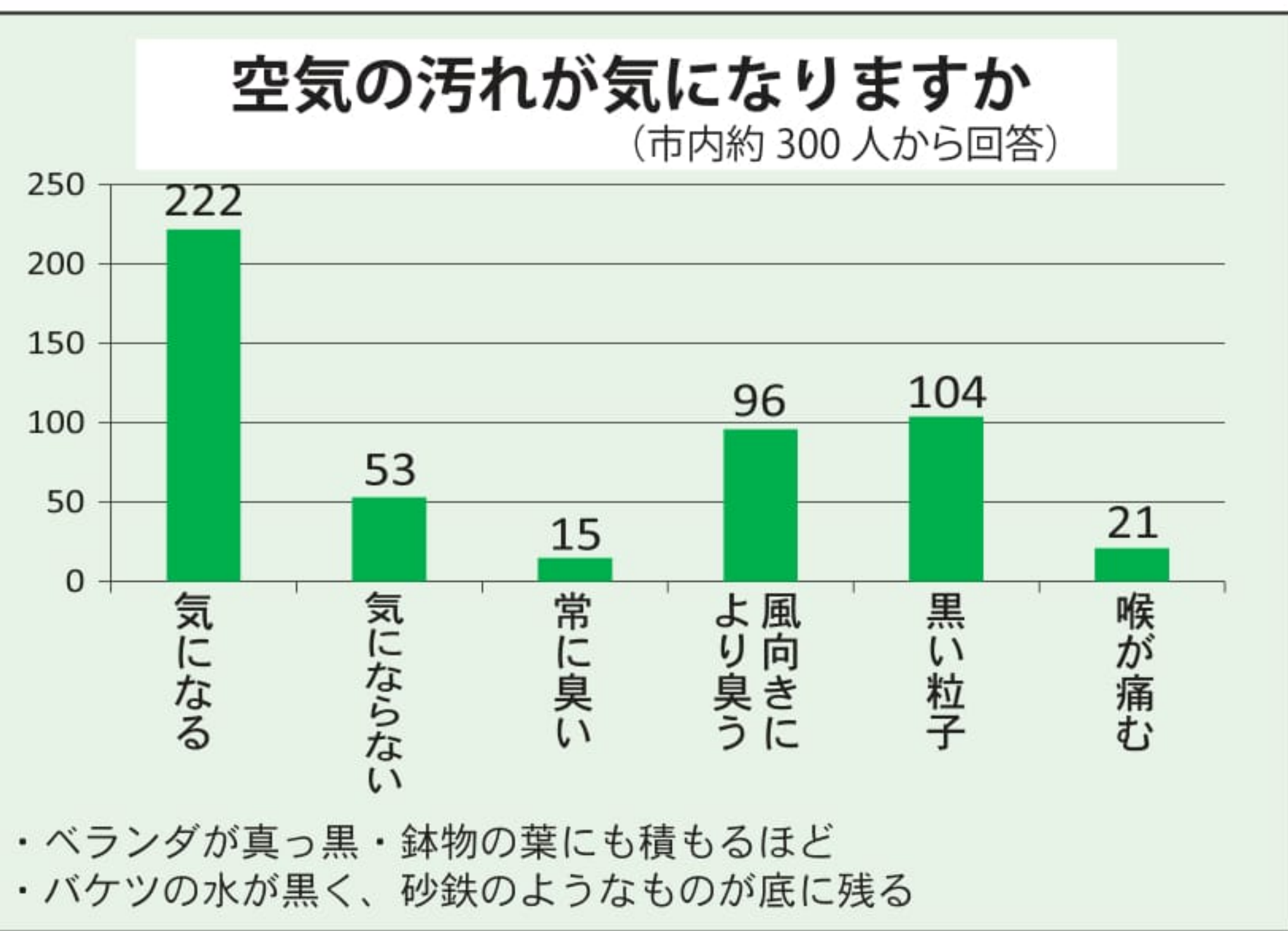
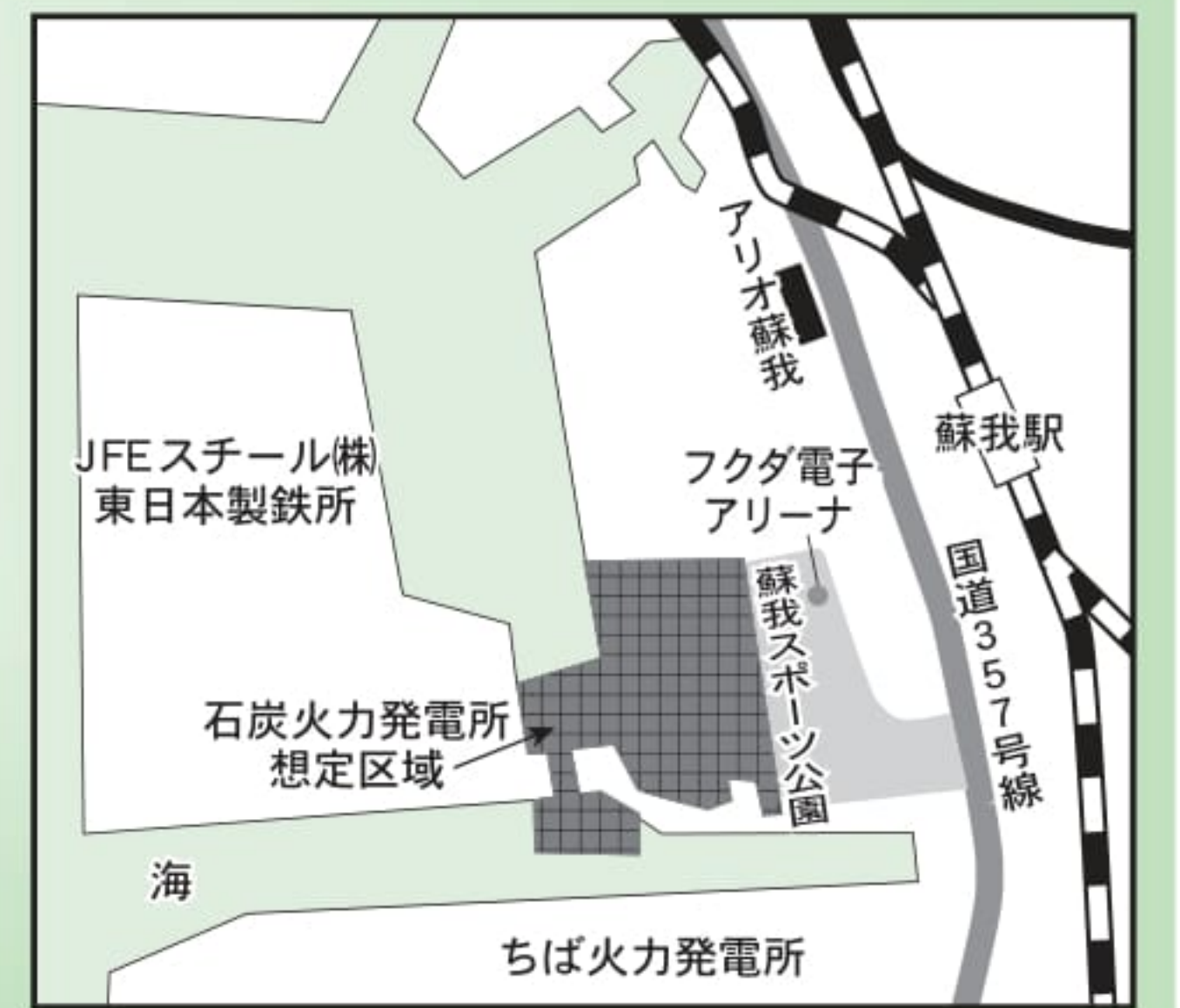
石炭火力発電所計画って？

いま日本全国で石炭火力発電所の建設計画が持ちあがっています。

千葉市でも、蘇我スポーツ公園隣に新設計画があります。千葉パワー株式会社(中国電力とJFE)によるもので2020年着工、2024年運転開始予定です。出力は約107万kwで、原発1基分に相当します。大気汚染など環境への負荷が懸念されますが、多くの市民には説明のないまま計画が進められようとしています。

蘇我地区は、過去にあおぞら裁判(川鉄公害訴訟)等で大気汚染と闘ってきた歴史があります。石炭火力発電所ができれば、現在でも工場・道路などからくる空気の汚れに悩んでいる住民をさらに苦しめることになります。「蘇我石炭火力発電所計画を考える会」に問題点を聞きました。

* 4月、あおぞら裁判運動をしてきた人、地元自治会の人、市民ネットワークの有志がよびかけてきた会



ベランダが真っ黒・鉢物の葉にも積もるほど
バケツの水が黒く、砂鉄のようなものが底に残る

石炭を燃やすことで硫黄酸化物やPM2.5さらには水銀などの重金属が煙突から排出され大気汚染物質が増えます。温室効果ガス(CO2)の排出が増えて生態系に大きな影響を及ぼす可能性がります。温排水による海の生物への負荷も懸念されます。

どんな問題・影響が考えられますか？

2014年4月の「第4次エネルギー基本計画」で、国は石炭火力発電をベースロード電源と位置づけています。また安倍政権は成長戦略として、インドネシアなどに石炭火力発電所のプラントを積極的に売り込んでいます。さらに電力自由化に伴う価格の低い電気への需要に因るため、多くの事業者が石炭火力発電の計画に乗り出しているのです。

なぜ、いま石炭火力発電所なの？

千葉市に石炭火力発電所は必要ありません！

私たちは学習会を開いたり、議会で市の姿勢や対応について質問するなど、石炭火力発電所の問題点を指摘してきました。石炭火力発電は、地球温暖化の抑制に向けた国際ルールである「パリ協定」にも逆行するものです。

千葉市に石炭火力発電所は必要ありません。また蘇我地区にこれ以上の環境負荷をかけるべきではありません。

市民ネットワークちば 石炭火力発電所プロジェクト

石炭火力発電所からは地球温暖化に影響を及ぼすCO2が多く排出されます。温暖化で熱帯の蚊が日本に定着したり、ゲリラ豪雨が多発している現状もあります。また、建設予定地周辺は、商業施設、保育所・幼稚園・小中高등학교などもある人口密集地です。以前からの黒い粉塵の被害も解決していません。そのような場所にもかわからず、この発電所計画が進められることを多くの皆さんに知っていただきたいと思ひます。



中央区にある、市民ネットワークちばの窓を拭くと、黒い粉塵らしき汚れが！あなたのおたくではいかがでしょうか？

市民へのアンケートをおこなったそうですが...
空気の汚れが気になる市民が多いことがわかりました。(左上グラフ参照)

あくまでも市民に寄り添う市長であれ

5月28日の千葉市長選挙では、私たちの応援した熊谷俊人氏が3選を果たしました。

投票率は過去2回を下回る29.7%と残念な結果でしたが、その中で、熊谷氏が目指した「過去の得票を上回る」目標は達成しました。

1期目公約の柱であった財政再建は、熊谷市長になってからの数々の見直しで危機的状況は脱しましたが、まだまだ課題は山積みです。

市長が今回マニフェストに掲げた「誰も置き去りにしない社会へ」は是非実現してほしい方向性ですが、同時に腰を据えて取りかからないと実現がむずかしい公約です。

今回、共産党以外のほとんどの政治組織や業界団体が市長の応援に回りました。その結果として、八方美人的な政策になるのではないか、懸念があります。

私たち市民ネットワークちばは、市民に寄り添った政策を進めるよう市長に求めていきますし、一つの課題に対し、軌道修正の提案もしつつ、是々非々で臨んでいきます。

市民ネットワークちば代表

山田 京子